



千八百七十三年長崎港貿易報聞

3407



114
A 3142
3



大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

八百七十三年長崎港貿易報聞

千八百七十四年三月廿日長崎英國領事館

余頭首左ニ列載セル千八百七十三年間當港貿

易荒ニ諸船ノ報聞表ヲ郵送ス

英國及ヒ其他諸國ヨリ輸入品ノ表

英國及ヒ其他諸國ニ輸出品ノ表

輸出入貨幣表

外國諸船ノ表

英國及ヒ外國諸船ノ表 (C)

千八百七十三年ノ表ハ之ヲ前年ノ表ニ比スル

飛騨

七
歳
百

番 諸 局
ニ當港ノ高賣進步セシコトナク反テ衰替ノ勢
アルヲ示メセリ是レ余ガ之ヲ言フヲ悲ム所ナ
リ今マ當港商賣ノ盛衰ヲ知ラントスルコトハ
一二ノ緣故アリテ甚タ難キナリ第一ニハ税関
ニ於テ目今存在セル章程ハ改正シテ善ヲ加ヘ
タレハ信ス可キ統計表ヲ得ル一昔時ノ如ク障
碍ナシト虽トモ然シナガラ之ヲ得ル一難キナ
リ第二ニハ當港ノ輸出物ハ過半藥種乾魚魚膠
海州菌類等ニシテ此等ノ物品ノ商賣ハ多ク支
那人ノ營ム所ニシテ歐羅巴人ハ深ク関涉セサ

ルモノナレハ右物品ノ賣買ヲ知り成ハ支那ニ
於テ右物品ノ消售ニ於テ増減ヲ致ス所ノ緣由
ヲ知ル者實ニ少ナキナリ然レトモ支那人等ハ
皆昨年間高賣ノ景況甚タ悪カリシ一ヲ歎キタ
リ、サレバ卷末ノ表中ニ記載セシ輸出高ノ減少
ハ右等ノ事情ニテ其所以ヲ明ラカニスルニ足
ル可シ
茶ト烟草トハ歐羅巴人ノ輸出セル物品中ノ重
立チタルモノニシテ殊ニ茶ハ然カルナリ而シ
テ今マ其取引ノ衰微シタルハ昨年間右物品ノ

賣買止ニ起リタル景況ニ關係スル所アリト思
 ハルハナリ日本商人ハ甚ク晩キ時十一月中旬
 頃迄テハ右物品ヲ少シモ賣始メザリシ故ニ昨
 年ノ茶烟州ハ過半必ラス今年ノ輸入物恐クハ
ノ誤リナラシニ令暫ラク原文ニ從フ中ニ算入セラル可シ
 輸入物ノ價值ノ下落ハ前以テ餘分ノ積債アリ
 タルニ因レリト余ハ思考スルナリ輸入ノ商賣
 ハ近來不景氣ナリシ故ニ當地ニ在留セル人モ
 本國ニ在ル人モ損毛アル商賣ニ從事スルハ無
 益ノ事ナリト終ヒニ考付クナラント予ハ期望

スルナリ遠方ニ住居セル人ハ大抵此狭小ナル
 市場ノ度量ヲ計リ過セリ故ニ此地ニテ一物品
 ノ需要アルトキハ船ニテ之ヲ積來ルコト支那
 ノ諸港或ハ横濱ニ相當ス可キ程ノ分量ニ至ル
 ナリ

輸入物

輸入物ノ價值ハ第一號ノ表ニ就テ知ル可キ如
 ク其額一百六拾二萬六千七百七十五弗ニシテ
 前年ノ一百八拾五萬六千五百四拾九弗ニ比ス
 レハ其減高十二萬九千七百七拾四弗ナリ左ノ

數目ヲ見ルトキハ主要ノ輸入物ノ上ニ生シタル減高ヲ知ル可シ

千八百七十二年分

千八百七十三年分

減高

洋布 二万五千三百三十一弗

十七万五千五百一十一弗

三万六千三百四十一弗

檣布 六万九千三百九十九弗

二千五百四十七弗

六万六千二百三十一弗

手巾 五千七百四十一弗

四万五千二百一十一弗

一千二百十九弗

印花布 四万二千三百九十九弗

一万五千零三十一弗

二万五千九十八弗

棉紗等 一万九千三百九十九弗

一万五千三百三十一弗

六千零十六弗

唐綫 二万零九百九十九弗

五千七百三十一弗

一万五千二百五十四弗

小綿糸 三万三千六百九十九弗

六万二千三百三十一弗

二万五千五百三十四弗

輸出物

茶

石炭ヲ除ケハ茶ハ當港ヨリ輸出スル物品ノ中ニテ最モ重要ナルモノトス然カルニ卷末ニ附ケタル表ニ於テ見ル可キ如ク昨年中其輸出高ノ大ヒニ減却シタルコトハ少シク其解ヲ做サハルヲ得サルナリ

千八百七十二二年ニ於テ茶ヲ買入レタルハ非常ニ早カリシ故ニ昨年ノ始メニ當テ前高賣時ノ茶ハ未タ賣レスニ存在シタルモノ非常ニ少

カリキ夫故ニ昨年ノ始メハ已ムコトヲ得ス茶
 シ船積ミスルコトハ少カリキ而シテ當所ノ市
 場ニハ右物品ノ缺乏ナルニ本國ヨリハ之ヲ買
 フ可シト言来リシニ因テ其價值騰貴シタレハ
 日本商人ハ新茶モ亦タ夫レ程カ或ハ好キ價ニ
 賣レ可シト見込ニ製茶師ト貴キ價ニテ約定ヲ
 取結ヒシニ新茶ノ市場ニ出デシ時分ニハ倫敦
 及ヒ新約克ノ不景氣ニ因テ外國人ノ之ヲ買ハ
 ントスル者ノ申出シタル價ハ日本商人ノ見込
 ミト相違シテ餘程低クカリシナリ日本商人ハ

自分等ノ市場ノ事ヲ知ルノミニテ外國ノ事情
 知ル者少ナキガ故ニ以為ラク右物品ヲ抱持
 シテ出賣セザルトキハ畢竟價モ貴クナリテ少
 クトモ損毛ヲ做サハル様ニ成ル可シト之レニ
 因テ歐羅巴ノ噴主ハ十一月中旬ニ至ル迄テハ
 大ヒニ手ヲ着ルハ能ハザリキ而シテ終ヒニ賣
 買ノ開キタル一ハ兩方ノ納得ヨリ出来リシナ
 リ何トナレバ兩替相庭モ低クナリ運賃モ廉ニ
 ナリニ且賣捌市場倫敦新約克ノ景況モ好ク成
 行ク様見ヘシ故ニ外國人ハ買込直段ヲ少シ

ク貴クシテ茶商人ノ折ントスル見込ニ應セ
シヲ以テナリ此時ヨリ年末ニ至ル迄盛ニ
買込ミヲ做シタリ然シテガテ高賣時ノ開キ方
簡程迄テ以シク遅延シタレハ右茶葉ハ過半千
八百七十四年ノ輸出物ノ中ニ入ラサルヲ得ザ
ルナリ

輸出サレタル茶ノ分量ノ不足ナル故ハ大抵之
レニテ解明カサレタリ然シテガラ亦上ニ説キ
ル如ク市場ノ開ケザリシ故ニテ近鄰地方ノ
茶ハ其半バ他ノ開港場江輸送サル、一ニ至リ

タレバ市場ノ開ケザリシハ當所ノ茶高賣ニ
シ甚タ害ニ成リタル一ハ容易ク思考シ得可シ
是故ニ當港ニ於テ(千八百七十三年六月ヨリ千
八百七十四年六月迄)輸出セル全高賣時ノ
茶ハ通常ノ平均分量ヨリ頗ル足ラザル一アル
可キナリ
品柄ヲ論スレバ當高賣時ノ茶ハ香味モ外觀モ
前高賣時ノ茶ニ比スレハ更ラニ美ニシテ價値
ニ至テハ大抵前年ヨリモ低キガ故ニ輸出者ハ
此船積ヨリ利得ヲ獲ベシト期望セリ

烟中

昨年（此物品ノ輸出高僅カニ十四萬五千百十
 弗ナレハ千八百七十二年ノ輸出高三十七萬四
 千百零八弗ニ比スレハ則テ昨年ノ輸出ニハ二
 十二萬八千九百九十八弗ノ減少アルヲ見ル
 可シ而シテ此大不足ノ起リタルハ前ニ説キ
 タルト畧同シ原因ヲ挙ケテ之ヲ解説シ得ベ
 シ諸テ其原因トハ昨年ノ始メニ當テ古葉ノ貯
 蓄サレタルモノ甚僅少ナルニ千八百七十二年
 三於テノ大量ノ輸出品倫敦市場ニ達セシト魚

ハトモ餘ル程ノ分量ニ至ラザリケレハ同所ノ
 價值ハ後ニ至リテ大ヒニ下落シタルナレト其
 節ニハ未タ左程ノ下落モアラザリキ之レニ因
 テ當地ニ在ル買主ノ中ニハ本國ノ需要ヲ計リ
 過シ日本人ノ尚所持シタル僅少ノ分量ニ充分
 ノ價ヲ与フルト甘シタル者アリタリ夫故
 ニ此高賣時ノ末ニ至リテハ其價甚タ騰貴シタ
 リ因テ日本人ハ新葉ノタメニハ甚タ高キ價ヲ
 求ムルニ至リタリシナリ
 然レドモ新葉ノ未タ長崎ニ到着セザル前ニ新

葉ノ長等ニ到着スルハ通常八月上旬ニ在リ前
年間輸出セシ烟草ハ輸出者ニ取リ大損失ナリ
リシコトヲ示メセル賣捌算計書ヲ添ヘ右輸出
品ニ付テノ音信ヲ本國ヨリ送來タセリ
輸出者ハ頗ル低價ニ非ラサレハ他ニ買込ム
ヲ固ヨリ嫌ヒタリ夫故ニ新葉ハ多分田舎ヨリ
送出サス高賣ノ始マリ方延引シ十一月下旬ニ
至テ日本人等更ラニ長ク維持スルコトヲ不利
ナリト知り其價ヲ下タセシ迄ハ十分ニ取引
アラザリシナリ然レ共其成果ハ茶ト同シコト

ニテ當然千八百七十三年ニ屬スル所ノ輸出ノ
多分ハ千八百七十四年ニ船積ミサル可キコト
ナリサレバ此新高賣時ノ始マリ方早キトキハ
此年間ノ高ハ大ヒナル可キナリ
品柄ニ就キテハ記載ス可キ程ニ甚タ大ヒニ異
ナリタルナリト雖ヘトモ當高賣時ニ於テ市
場出テ來リタル葉ノ分量ハ前ヘノ年ニ比スレ
ハ其割合餘程多シトス肥後葉ノ包仔ハ數多シ
サレタルガ熱ト微不至テ傷ミタル様見ユ思フ
ニ以テ留メ置キシニ因テ然カルナリ

水蠟

此物品ノ總高ノ減少セシ所以ハ倫敦市場ニテ
 其價ノ格外ニ下落シタルニ在ルナリ千八百七
 十二年十二月倫敦ニ於テ好キ品柄ノ蠟ハ一ホ
 ンドルト、ウエートキ付キ百シルリング餘ノ價ナ
 リキ然レシナカラ其時以來追々ニ下落シテ千八
 百七十三年六月ニハ六十五シルリングニ至リ
 タリ其後ハ右同價或ハ夫ヨリ稍低キ價ニテ動
 コザリシナリ千八百七十二年ノ末及ヒ千八百
 七十三年ノ始メニ於テ當港并ニ他ノ開港場ヨ

リ衆多ノ分量ヲ船積シタルハ正シク本國ニ
 其價格ノ大下落ヲ生シタル原因ト成リシナ
 リ一躰水蠟ト云フモノハ其需要ニ明然限界ノ
 アル品ニテ他ノ産物トハ違ヒ廉價ニナリタリ
 トテ需要ノ増加スル能ハサルモノナリ故ニ斯
 ノ如キ下落ハ船積スル人ニ必ス大損失ヲ引起
 ス可キモノナレハ右損失ノ知ラルトキハ即
 時ニ其輸出ノ減少ス可キ事ハ容易ニ想像シ得
 ベシ而シテ事實然カアリタリ何トナレハ當港
 ニテ價值下落シタリト魚ヘトモ然レシナカラ年

未ニ輸出サレタル分量ハ甚タ少ナケレバナリ
陶器

此物品ハ千八百七十二年ニハ三萬一千六百二
十六弗ナリシ処千八百七十三年ニハ八萬七千
百七十五弗ニ迄テ増益シタリ輸出サル、製造
物ハ此物品ヲ除ケハ殆ンド外ニ有ルイナシ故
ニ今マ此物品ニ付キ數言ヲ陳述シテ可ナラン
節リニ用ユル花瓶ハ輸出サル、物ノ中ニテ主
要ノ物品ナルガ其模様ト彩色トハ近頃大ヒニ
進善シタリ技術ノ此科ニ於テ日本人ノ得タル

所ノ巧思ハ実ニ卓越シタルモノト見ヘタリ而
シテ日本人ハ歐羅巴ニ於テ最モ貴重スル所ノ
風韻ヲ漸々會得スルガ故ニ肥前ノ陶器師ハ其
製出スル所ノモノニ因リテ遂ニ声價ヲ得ルヤ
ウ成行ク可シト思ルハナリ

樟腦

此物品ノ輸出高ハ大抵千八百七十二年ト相等
シ此藥種ノ價ハ當港ニテ少シク貴クアリタレ
ドモ年々至リテハ倫敦市場ノ景氣ニ應シテ
下リ氣味ニ成リタリ

銅

銅ハ其賣買是迄テ盛ニナラスト虽ヘトモ青銅ハ重モニ舊キ大砲ノ供ニテ商賣物品ノ中ニテ稍大ヒニ輸出サル、品物ニテアリタリ外國人ハ當港ニテ買入レタルモノヲ大抵神戸へ仕向ケテ船載シ右港ヨリノ輸出物トナシタリ

米

米ハ當今神戸及ヒ横濱ニテ重モニ輸出スル品物ナレハ當港ニ於テモ以カラスシテ大方右ノ如ク相成ル可シ神戸横濱ニ於テ船積シタル澤

山ノ米ハ日本船ニテ現ニ當港ヲ通行セリ今迄當港ヨリ輸出スル一無カリシハ好時節ニ相當ノ船ヲ得ル一難キニ因テナリ

石炭

長崎ニ於テ石炭ノ重モナル一商品タル一ハ余ノ贅言スルニ及ハザル所ナリ唯惜ム可キハ當港近鄰ノ石炭坑ハ未タ開鑿セサル者多クアル一ナリ

高島坑ハ其有様多量ノ產出物アル可シトノ預説ナリシカ果シテ然カリ石炭ノ產ハ大ヒニ増

殖シテ四萬一千三百噸ヨリ八萬二千四百六十噸ニ至レリ即チ左ニ示メス如シ

支那ニ船積シタルモノ 二萬七千二百五十七噸

横濱神戸船積シタルモノ 一萬四千三百五十八噸

ウラテイネネツクニ船積シタルモノ 七百九十五噸

大平海飛脚船消費シタルモノ 一萬四千五百七十八噸

當港ニ蒸氣船消費シタルモノ 四千一百二十二噸

當港ニ軍船消費シタルモノ 四千八百二十二噸

長崎ニ貯蓄シタルモノ 一萬二千五百二十八噸

總計 八萬二千四百六十噸ナリ

高島坑ノ石炭ハ自然掘盡サルノイアリトモ又其近邊ノ他坑ヨリ之ヲ採リテ辨給スルイヲ得可キナリ

當港ノ入口ニ在ルコヤキ島ニハ數多ノ石炭脉アリ日本ハ多年間右石炭脉ノ地表ニ出テタル処ヨリ斜面ノ坑道ヲ穿テテ時々之ヲ掘出シタリ其石炭ハ筧ニ容レ人ノ脊ニテ之ヲ負擔シ而シテ其水ハ竹製ノ唧筒ヲ用ヒテ之ヲ抽起シ又多分ニ之ヲ抽起セントスルトキハ水車ヲ用ヒタリコヤキ島ニハ甚タ好キ燃土質ノ石炭脉

二條アリ一ハ其厚サ五フットニシテ一ハ其厚
 サ七フットアリ其外尚小キ石炭脉数個アリ此
 島ニ在ル数個ノ石炭坑ハ之ヲ開鑿スルニ適當
 ノ器械ナキニ因テ先年同ハ之ヲ打捨置タリ此
 石炭ハ其脉ノ地表ニ出テタル部分ヨリ少シノ
 距離ニ在ルモノヲ皆ナ鑿出シタル上ハ日本法
 ニテ水ヲ上げ又ハ風ヲ通ス一ハ甚タ難ク且ツ
 費モ多ク掛ル一ナレバ歐羅巴ノ好キ工作法ヲ
 用ヒサレハ右等ノ坑ヨリ鑿出セル石炭ハ追々
 ニ減少シ終ニ無クナル可キナリ

コヤキニ次キテ最モ近キ所ニテ石炭ヲ出ス地
 ハ松島ナリ此嶋ノ大サハ殆ンド高島ニ十倍セ
 リ此島ニ數箇ノ石炭脉アリ則チ左ノ如シ

一脈ハ	厚サ九インチ
一脈ハ	厚サ二フット六インチ
一脈ハ	厚サ一フット六インチ
一脈ハ	厚サ八インチ
一脈ハ	厚サ二フット
一脈ハ	厚サ四フット

右ノ内ニテ最モ貴キモノハ四フットノ脉ナリ

右脉ノ地表ニ近キ部分ハ既ニ全ク鑿出シタリ
 千八百七十一年中專ラ歐羅巴ノ法ニ從テ此脉
 ヲ開鑿センガタメ資本金ヲ出シ及ヒ補助ヲ做
 サントラ外國人ニ要求セシ者アリシガ右ハ実
 際ニ施行サレガリキ是舉ハ政府ニテ之ヲ差止
 メタリ而シテ其以來此島ノ產物ヲ鑿出スベキ
 處置ヲ施サ、リシ

唐津ニモ石炭アリ同所ノ脉ハ其厚サ三フート
 ニ踰ユルモノ稀ナリ而シテ其石炭ハ之レヲ他
 所ノ品ニ比スレハ更ニ燃土質アルモノトス

鑛

日本人ノ長崎ニ持テ来リタル日本産ノ鑛ノ見
 本ハア、ンチモ子、グラン、ス、鉛鑛、硫銅、亜鉛鑛ヲ
 重モナリトス其外黒鉛モアリ右鑛物類ノ高ハ
 僅ニ見本ノ量ニ過サル故ニ打續テ供給アル可
 シトハ未タ信スル能ハサルナリ此等ノ鑛山ハ
 若シ外國人ヲシテ之ヲ開カシメハ大ヒニ當港
 ノ貿易ヲ增益スルニ至ル可シ
 前ニ記載シタル鑛類ハ肥後日向對馬及ヒ他ノ
 附近ノ地ヨリ来リタルモノナリ泥類、鐵石ハ

番言
石炭ノ諸脉ノ中ニ沢山アルヲ見レハ此近邊ノ
地ハ鐵鑛鎔冶ノ中心ト成ルコトアル可キナリ

兩替相場

倫敦ニ宛テタル六個月後拂ノ手形ノ相庭ハ此
年間非常ニ低クカリキ千八百七十二年ニハ一
墨是哥弗ニ付キ四シルリング八ペンス半ナリ
シニ昨年ハ平均四シルリング四ペンス八分ノ
五十ナリ一月ノ相庭ハ四シルリング六ペンス半
ニシテ十一月ニハ低リテ四シルリング三ペ
スニ成リタリ長崎ノ兩替相庭ハ上海ニ由テ立

ルガ故ニ其下落ハ全ク上海ノ相庭低リシニ因
レリ而シテ右ハ必ス輸入ニハ害ニ成リテ輸出
ニハ利アリタリ

通用金

圓ハ現今長崎及ヒ九州ニ於テ常用ノ通貨ト成
リタリ右ハ多分紙幣ニテ通用シ僅カ金貨ニテ
通用セリ然シテ十ガラ銀貨ニテハ絶ヘテ通用セ
ス圓ハ現今日本帝國ノ貨幣ニシテ誰ニテモ容
易ク之ヲ受取ルコトヲ考フルトキハ圓ヲ如頭ニ
於ケルトシテ常ニ記載ニ做スハ誤リナリ後來

紙幣ハ圓(金圓ニテモ銀圓ニテモ)ナル本位ニ比
 較ニテ他日扣頭アルニ至ルコトモアル可シ而
 シテ然ル時紙幣ハ真貨ト別ニ記ス可キナリ然
 レトモ免ニ角長崎ニ於テハ即令金銀貨共ニ商
 賣上ニ於テ皆ナ紙幣ト同價ナルカ故ニ今爰ニ
 紙幣ノミヲ擧ケ論ニテ足レリトス故ニ此紙幣
 ハ金銀貨幣ヲ其本位トナスカ故ニ圓ナル名称
 ニ依リ一定ノ價ト看做スナリ得可シ然レハ扣
 頭ト云フ詞ヲバ日本ノ本位貨幣ニ付キテ用ユ
 へカラス他種ノ貨幣及ヒ外國ノ貨幣譬へハ墨

是哥弗或ハ徳川政府ノ舊貨幣ノ如キモノニ用
 ヲ可キナリ他種ノ貨幣コソ價ニ變化ヲ生ス可
 ク而シテ其場合次第ニテ溢價アリ或ハ扣頭ア
 リト記セラレベキナレド圓ニハ扣頭アリト云
 フ語ヲ用ユ可ラス設若へバ墨是哥弗ノ如キハ
 商賣上ノ詞ニテ溢價アリト云フベケレドモ圓
 ニ就テ扣頭アリト云フハ誤リナリ圓ハ本位貨
 幣ニシテ墨是哥弗ハ重モニ外國人ノ用ユル所
 ノ交易品ノミ故ニ右弗ノ日々ノ價ハ溢價同價
 或ハ扣頭ト云フ詞ヲ用ユ可キナリ

番言
何故ニ金錢ハ價ノ変スルヲアリヤトテ其道理
ヲ探ルハ何故産物或ハ輸入品ハ一様ノ價値ヲ
有セサルヤトテ之ヲ吟味シ之ヲ詳論セントス
ルコト同様ノ事ニテ無益ナルコトナリ右ハ何レ
モ需要ト辨給トノ道理ニ從フモノニシテ全ク
差コトナシ設若ハ金巾僅少ニシテ需要サル
、時ハ其價ハ昇ルモノナリ若シ沢山ニシテ需
要サレサル時ハ其價ハ降ルモノナリ是レト同
シ事ニテ弗モ需要サル、時ハ溢價アルナリ而
シテ若シ需要サレサル時ハ扣頭アルナリ

墨是哥弗ハ恰モ茶絹或ハ烟草ノ如クニ外國ニ
輸送サル可キ一個ノ値ヲ有セル物品ト見做サ
ル可キナリ故ニ日本ノ圓モ亦タ支那或ハ其他
ノ國ニ於テ墨是哥弗ト同一ノ値ヲ以テ賣買サ
ル、トキニ至リ始メテ此兩貨幣ノ價ハ此地ニ
テ同等ニナル可キナリ
右金錢ノ價變更ノ論ハ固ヨリ瑣末ニシテ吾ク
知レタルコトナリ然シテカラ何故ニ弗或ハ圓ハ
扣頭アリヤト疑問ノ起ル度毎ニ之ヲ反覆セサル
ヲ得サルナリ

圓ニ碍リアリ或ハ降リアリト稱セス弗ニ溢價アリ或ハ扣頭アリト稱スル方正當ナル可キナリ

諸船

(C)表ヲ見ルトキハ千八百七十二年ノ二百十一艘ノ英國船七萬二千四百五十八噸ノ艙量ニ對シテ千八百七十三年ニハ二百七十艘艙量十萬零九千八百五十三噸ノ英國船當港ニ出入シタレハ昨年ハ五十九艘三萬七千三百九十五噸ノ增加アリタルヲ見ル可シ此諸船多分ハ石炭

高賣ニ掛リタリ是レ輕キ荷物ヲ積込ムニハ蒸氣船ノ方ヲ取ルベケレハナリ入港ニ而シテ出港シタル英國船及ヒ外國船ノ艙量ハ總計五十六萬一千一百五十五噸ナレハ先年ノ四十七萬七千三百七十六噸ニ比スル時ハ八萬三千七百七十九噸ノ増數アルヲ見ル可シ

在港外國人

- 英國人 一百一十人
- 米國人 三十八人
- 葡萄牙人 一十三人

日耳曼人

二十人

俄羅斯人

五人

瑞士人

二人

荷蘭人

十四人

諾威人

二人

瑞典人

二人

佛蘭西人

一十六人

西班牙人

二人

澳特羅匈牙利人

二人

支那人

七百二十三人

總說

今マ高賣ヲ盛ニスルニ如何ナル事ヲ為ス可
 キヤトノ疑問起ラシ其最モ重要ナル所願ハ輪
 車ノ通行ニ用ユ可キ好路ヲ開クニ在ルナリ而
 シテ此ノ如キ種類ノ路ヲ時津ニ至ル迄テ造ル
 一ハ甚ダ容易ナル可キナリ而シテ之ヲ好キ陸
 揚場ト連接スルトキハ大村地方ヨリ出ル産物
 ヲ長崎ニ搬運スルニ其費用ハ現今ヨリ頗ル減
 ス可シ然シトカラ當港ヲ近隣地方ト連接スル
 ニ最モ先キニス可キ路ハアバニ至リ而シテ夫

レヨリ矢上ニ及ブベキ路ナル可シト予ハ承知
 セリ矢上ヨリ先キハ諫早及ヒ内地ニ達セル可
 ナリ好キ路アルナリ借テ此方ニ當リテノ路ハ
 最初ニ彎曲ノ斜坡ヲ開キテ現今ノ母木路ノ通
 スル所ノ壑ニ登リ而シテ山頂ニ達シタル後ハ
 右嶺ノ旁側ニ沿ヒテ斜メニアバニ下ルヲ得
 ペシ此外尚ホ他ノ平易ナル登路アルナリ然シ
 ナカラ何レヲ開ク可キヤヲ定ムルハ測量師ノ
 與カル所ノ事ナリアバ迄テ達シタル後ハ妨礙
 モ頗ル少ナカル可シト予ハ考フルナリ好キ道

路ヲ設クルハ國ノ資財ヲ開クニ此上モナキ緊
 要ノ事ナレバ日本人ノ之レヲ知ルニ至ラン
 ハ期望ス可キ事ナリ

東京政府ヨリ當港ニ裁判局ヲ設ケ且ツ裁判人ヲ
 命シタルハ予ガ觀テ喜ブ所ナリ是迄テハ文
 易法典破産律例ノ制定ナキヲ以テ外國人ハ日
 本人ト約條ヲ取結フニ右法典條例ニ因テ事ヲ
 處分スル能ハサレバ人皆ナ其制定アラニ
 欲セリ故ニ新任ノ裁判人ハ此事ニ付キ幾許カ
 有益ナル行為ヲ做ス可シト豫察セラレハナリ

二三年前に築造サレタル官許ノ船舶修造所ハ
 甚タ好ク用立ツニ似タリ昨年中膽量八千一百
 四十五噸ノ二十二艘ヲ修造シタリ

洞氷修船所ニ至テハ一モ進歩セシ所ナシ然シ
 ナガラ之ヲ建造セシガタメニ佛蘭西ノ機械師
 ノ到着シタル趣ヲ予ハ承知シタリ頓首謹言

マルコスフロールス

ハルレーパークス君閣下

千八百七十三年中英國及其他外國ヨリ長崎港ニ輸入物表

○木綿織物 惣計四四八九五九弗

品名	數量	弗
鼠色及白色金巾	二四九〇四七一	一七五・二三
雲齊木綿	一六二四六〇	一四六・二一
檯布	三六三四九	二五四七
手巾	四五三二	四五・二二
印花布	二一四一五九	一六〇・六一
剪絨 綿毛文織物	一八四九〇三	五八・四八
綿紗	同	同
寒冷紗	一五四七〇六	一三三・五五

唐棧	二五四五。	五七二六
洋紅布	一〇四六〇〇	九四一四
染色金巾	三九九七三〇	三六七六〇
肌着類	七九九六	三五九八二
帆布	二九四一九	六一八五
木綿物	七〇七六三	五六〇〇
木綿糸	一六三五	六二一三〇
同縷絲	五七七	二八八五
雜品		六二〇〇
○毛織物 惣計二八八九三八弗		

品名	數量	弗
羽紗 <small>ヨウカ</small>	一八四七三	五一七二
羅脊板	一六三二〇	二七七四
フランネル	一六四〇九	五四二〇
羅紗	一五九九七	三九四九二
ブランケット	四六三一四	一八五二五
毛布	六六二一〇一	一二五七九九
同文織	三五六三七五	七一二七五
敷物	三〇八五	一二七六九
雜品		七六八五

飛

大

○金屬

惣計七四四八九弗

品名	數量	弗
鐵塊	擔	四七二八
熟鍊	仝	五二七二〇
鎖鋼	仝	四四〇〇
銅	仝	三五九一
黃銅	仝	九〇五〇
雜品		

○雜貨

惣計八一四三八九弗

品名	數量	弗
器械	八九六	三〇五九

軍器類

七五〇〇

白砂糖

擔

一一六九四

九九六七五

赤砂糖

同

一三三六四

五三九九八

冰糖

同

二二八二

二五一〇二

酒類

箱

五〇八〇

五〇八〇〇

食物類

同

二六一九

七八五七〇

石腦油

同

一〇七〇七

四二八二八

巴里品

同

九二八

九二八〇

家具

同

二二一

二二一〇

玻璃板

同

一四九九

七四九五

玻璃燈

同

一〇四七

一〇四七〇

玻璃器

同

四〇

一四二〇

衣服類

同

一九

五〇〇〇

書籍

同

一九一

六八〇三

製藥

同

四三〇一

二〇六四三

藥種

擔

四六一

五〇七一

茶鉦

同

二四四

二九二八

繩

同

一九二

三二〇〇

革

同

五五〇

二九四六

鼈甲

同

一九

四〇八四

獸腸絲

同

一九

四〇八四

豆油

同

四七二三

三五二九七

胡麻種

同

一六八二

六三〇七

生綿

同

八八八三

一四六五六九

米

同

一〇九五七

二一九五九

豆類

同

二五八〇一

三三二五一

粉名

桶

一五六三

一四〇六七

繪具

擔

一〇四一

一一五三二

繪油

同

七二

二八八〇

藍散

同

十九

一一四〇

朱

同

十九

一一四〇

蘓木

同

一四六二

四七五二

飛

大

犀角	同	四二五	一四七八
掛時計			
袂時計			四五〇〇
石炭	噸	二〇五三	二五四二八
煙草	磅	四七三七	五二三〇
卷煙草			
棒石鹼			二〇〇〇
化粧石鹼			七五〇〇
鹽漬牛肉	桶	二五〇	四二六二
帽子	打	二七八六	一二五四五
手套	對	三〇〇〇	三〇〇
足襪			
絹物	反	二八六六	三八五〇
雜品			

惣計

一六二六七七五弗

千八百七十三年長崎港より英國及其他外國に輸出物表

茶	擔	七八七七	二五二〇六四
同下品	同	七七六九	四六六一四
粉茶	同	三三一九	六六三八
煙草	同	九六七四	一四五一一〇
板昆布	同	一〇、一三七	二八九四六
切昆布	同	一六二五	四三八一
鹽魚	同	二七〇	二七〇〇
乾魚			

飛騨

大藏省

木蠟	同	九八六三	一八三五六
蜜蠟	同	一三四四	一九八八
材木	共整	一一六五〇二四	七八七五三
藥種	擔	一八二〇	九六六九
樟腦	同	一二九七	一九九八六
陶器	箱	三四八七	八七一七五
乾殼	擔	一〇二七	二六六七六
菌類	同	一一八七	一七八〇
寒天	同	二四六四	六九八〇四
	同	三〇三	七八七八

石炭	大小粉	噸	九三四四二	四六七二一〇
人參		擔	三一九	九五七〇〇
煎海參		同	一一二九	五三〇六三
鰂		同	一〇三五八	一七五九九六
銀杏		同	三六五	八二一
硫黃		同	一二四九	三六七六
鱉鱗		同	三三三	一三二二〇
乾貝		同	八三九	一〇五四七
桂皮		同	二八〇四	四四八六
牡丹皮		同	五七〇	四八五〇

紙	同	二五六	二五一四六
鉛	同	一六四〇	九〇二〇
漆器	箱	一八九	四七二五
硝石	擔	一五〇〇	一〇五〇〇
米	同	三〇九	六一三八
木炭	同	三二七	一〇八六
半燒石炭	噸	三五六	五三七〇
銅 青銅等	擔	四六八三	六八八四五
雜品			二八八七六
惣計			一八九九七九三弗

千八百七十三年長崎工輸入及同港ヨリ輸出シタル貨幣表

上海ヨリ輸入シタル數	四九六一五四〇〇
日本開港場ヨリ輸入シタル數	六八八〇〇七〇〇
上海工輸出シタル數	一一四九二六〇〇
日本開港場工輸出シタル數	一一六四七〇〇〇
惣計	一四一五五五七〇〇

飛
澤
局

大
藏
省

瑞典
諾威	一
魯細亞

蒸氣船

太平洋郵便氣船	九六
米利堅	三〇
日耳曼北鄰
魯細亞	四
噠馬

諸船表 英國

入港

船數	一四一
船量	五五三
水夫數	一八六
載貨價	...

出港

船數	一三九
船量	五五三
水夫數	一八五
載貨價	...

出入港總計

船數	二七〇
船量	一九九
水夫數	三七〇
載貨價	...

外國

船數	一八七
船量	二五五
水夫數	...
載貨價	...

船數	一八七
船量	二五五
水夫數	...
載貨價	...

船數	三七四
船量	五〇〇
水夫數	...
載貨價	...

入港之英國外國總船

出港之英國外國總船

入出港之英國外國總船

船數	三二八
船量	二八〇
水夫數	九七二
載貨價	...

船數	三二六
船量	二八〇
水夫數	一八三
載貨價	...

船數	六五四
船量	五六一
水夫數	一五五
載貨價	...



